

科目	事前・事後指導	担当	田中 信幸	履修学年	4年
時間数	90分×時限×8回(週1回)	履修区分	必修	単位数	2単位

**【授業目標・到達目標】**

教職課程4年次には教育実習を行い、大学で学んだ教職専門、及び教科専門の知識や技術、幅広い教養などを用いて、学校において実際に教育活動を行い、教科指導や生徒指導の方法などを学ぶ。

本授業では、事前指導において、教職を志す者としてのマナー、各教科の授業、生徒指導、評価の観点と評価項目を中心に学修し、教育実習への準備とする。

また、事後指導では、教育実習の反省を通して、自らの課題に対する対処方法を考察する。さらに、社会人としてのさまざまなマナー、モラルについても学修する。

**【履修注意】**

教職課程を履修している学生だけを対象とする。

全出席を原則とする。

**【評価方法】**

授業への参加意欲と提出物により評価する。

**【試験について】**

定期試験は実施しない。

再試験対象者の条件：再試験は実施しない。

**【予習・復習】**

2単位科目は90分の授業に対して90分の家庭学習(予習、復習)が必要である。授業時に家庭学習の内容について指示する。

**【教科書】**

購入教科書なし

**【参考書】**

参考書なし

**【その他の注意事項】**

**【授業計画・内容】**

回数	項目	内容
1	教育実習の意義	教育実習の意義、教職を目指す社会人としてのマナー
2	授業実習について	授業前の準備、授業中の対応、授業後の反省
3	評価と観点、生徒指導の在り方	評価の観点と項目、生徒指導・学習指導・進路指導の在り方
4	望まれる教師像	生徒が求める教師像、保護者が求める教師像
5	生徒理解	一人一人の生徒の良いところを見抜く目
6	教員の資質能力	いつの時代にあっても教員に求められる資質能力
7	授業実習終了後の対応	校長、教頭、指導教員などからの事後指導の受け方
8	教育実習全般に関する反省	実習記録、授業記録、授業観察記録、今後の課題などのまとめ
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		